

take
free

協力隊新聞

2024年
2月

寄居町地域おこし協力隊が発行するニュースレター 第2号

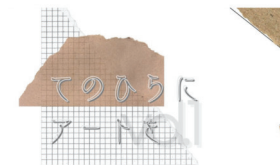
“よりの小さなパン・マルシェ”を
開催しました

2023年12月16日、“よりの小さなパン・マルシェ”を寄居駅南口駅前拠点施設Yottecocoで開催しました。参加店舗数は9店舗にもおよび、小規模ながらも、非常に多くの方々にご来場いただきました。当日は合わせて1200個近い数のパンや焼き菓子を販売し、ほぼ完売。中には午前中に完売してしまったお店もあるほどでした。

次回の開催は初夏を予定しています。どうぞ、お楽しみに！

“てのひらにアートを”を
開催しました

2023年11月26日、Yottecocoにて木っ端と和紙を使ったワークショップを開催しました。当日は幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。木っ端は町内の工房、和紙は近隣町村の名産品を使用し、素材を直に体感していただくことができました。また、身近なちょっぴりもったいない材料を知る良い機会にもなりました。今後もアートを見たり触れたりする企画を実施していきます。



【協力隊のご紹介】

\\ フォローしてね / /

顔写真横のQRコードから、それぞれのSNS等がチェックできます！
Yottecocoの窓口で活動中です。



内川 雄生 (うちかわ ゆうき)

ミッション
魅力向上・集客促進



松本 哲明 (まつもと とつあき)

ミッション
移住支援/創業支援/
空き家・空き店舗活用

地域おこし協力隊とは

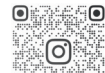
地域での生活や地域貢献に意欲のある人材が都市部から移住し、
地域おこし支援などを行う仕組み。

[協力隊の特性を活用×地域に新しい風×行政ではできない柔軟な活動]
の三方よしの取り組みです。

編集後記

協力隊新聞の第2号をようやくお届けできました。言い訳にしかありませんが、状況が刻々と変化する中で新聞制作は、なかなか進みませんでした。第3号以降は、ペースを少し上げて発行できたらと考えています。これにより、寄居町の皆さんが私たち協力隊をもっと身近に感じていただけることを願っています。

協力隊公式インスタ



yoriimachi_kyouryokutai



埼玉県のアスコットリゾート

協力隊コラム



〈イメージです〉

「てのひらにアートを」 後日談

内川 雄生〔魅力発信〕

第1回目のワークショップを開催してみて、思ったことを綴らせていただきます。

書道の世界では「目習い、手習い」などと呼ばれる教えがあります（もちろん他の分野でも似たようなことが言われているとは思いますが）。これは、これがいいものだ、と目が先行して育ち、それに伴い、続けた分だけ腕が上がるということです。

その向上のためにはやはり、ものづくりに見たり触れたりする機会はどうしても必要です。

たいていワークショップは、時間的・空間的な制約の関係上、範囲や対象を狭めざるを得ません。その中でいかに自由度の高い仕掛けを提供できるかが、アート制作の場として求められてくるのではないかと思います。やはり、自分自身で作ることが“楽しい”ことをお伝えしていきたいと思うのです。

そして、そういう観点から、寄居町のYottecoという建物は“日常的かつフレキシブル”で人の目にとまりやすい空間だということが、わかってきました。つまり、上記の制約が“ゆるい”のです。

Yottecoが多くの方の“もう一つの居場所”になり、もっと活動が盛んになるように取り組んでいきたいと思っています。

初の空き家マッチングが 実現しました！

松本 哲明〔移住・創業支援／空き家活用〕

昨年（2023年）4月に、地域おこし協力隊に着任。以来、寄居町の空き家利活用促進に取り組んできました。

なかなか空き家の発掘が進まない中、今年のお正月頃に、ようやく1件目となる空き家マッチングが実現しました。大家さんのTさんから初めてご連絡をいただいてから2ヶ月半ほどでの実現でした。その後、Tさんから次のようなメッセージをいただきました。

「こんな田舎の物件に需要はないだろうし、変な条件もあるし、借り手なんてすぐに見つかるものじゃないと本当に思っていたので、松本さんに相談させていただいてからこんなにも順調に話が展開していて素直に驚いております。」

この物件は、ちょっと特殊なニーズがありました。

- ・借りる方に仏壇の簡単な管理をお願いしたい
- ・時々大家さんご自身も里帰りして滞在したい

そういった点については、移住者としての目線をお伝えしました。例えば、仏壇などは移住者が代わって管理している例も実際にあることなど。条件として素直に提示すれば「それでも構わない」という方は必ず出てきますよ、と。

空き家利活用の現場では、持ち主さんと移住者側の観点ですれ違いを起こしていることが多いように感じています。結果として、空き家そのままになってしまうのは残念ですし、空き家も放っておけばおほほど状態が悪くなってしまいます。

大家さんのお気持ちや実情などを丁寧にヒアリングさせていただきながら、マッチングが上手くいくための提案をさせていただきました。「どうせ無理だろう」というお気持ちがあっても、実は可能性があることもあります。ぜひ一度、ご相談ください。

担当：松本

matsumoto.yorii.lvc@gmail.com

090-3140-4944（不在の場合は折り返しいたします）

Instagram：@tets_yorii_lvc

X（旧Twitter）：@Tets_yorii_LVC



〈ワークショップで使用した和紙や反故紙などの材料〉